

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年11月14日

**【四半期会計期間】** 第47期第2四半期(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

**【会社名】** パウダーテック株式会社

**【英訳名】** Powdertech Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 隅 田 洋

**【本店の所在の場所】** 千葉県柏市十余二217番地

**【電話番号】** 04-7145-5751(代)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営管理部長 徳 重 秀 人

**【最寄りの連絡場所】** 千葉県柏市十余二217番地

**【電話番号】** 04-7145-5751(代)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営管理部長 徳 重 秀 人

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次		第46期 第2四半期連結 累計期間	第47期 第2四半期連結 累計期間	第46期
会計期間		自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	(千円)	5,034,111	4,594,478	9,881,392
経常利益	(千円)	570,321	482,773	1,105,009
四半期(当期)純利益	(千円)	308,543	276,333	571,914
四半期包括利益 又は包括利益	(千円)	316,585	288,128	565,208
純資産額	(千円)	5,980,062	6,368,365	6,228,662
総資産額	(千円)	9,633,065	9,932,000	9,591,302
1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	20.81	18.64	38.57
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	62.1	64.1	64.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	35,652	741,695	609,312
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	240,432	400,254	466,978
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	28,477	220,483	12,063
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	558,334	1,041,195	920,756

回次		第46期 第2四半期連結 会計期間	第47期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり 四半期純利益金額	(円)	7.62	9.14

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式がないため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」の内容に重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、欧州の債務危機の長期化に伴う景気後退、新興国の経済成長の鈍化、さらに米国経済も回復には至らず低調に推移いたしました。いっぽう国内は、円高や輸出不振により景気の先行きには依然として不透明感が残っております。

このような厳しい経済環境のなか、電子写真用キャリアが使用されるオフィス用複写機・プリンターや商業用印刷機の市場環境も不透明な状況が継続いたしました。

脱酸素剤が使用される食品業界は、震災後少しずつ回復してはおりますが、夏期に入り減速傾向となりました。鉄粉の主要用途であるカイロにつきましては生産調整等により前年同期を下回る需要となりました。

これらの市場環境を反映して、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比8.7%減少の4,594百万円となりました。

損益面では、主にキャリア事業の販売減少により、営業利益は496百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

経常利益は482百万円（前年同期比15.4%減）となり、四半期純利益は276百万円（前年同期比10.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### キャリア事業

当セグメントにおきましては、前年同期におけるお客様での震災後の増産が一段落したことで、当第2四半期に入りましてからの一部お客様の在庫調整などもあり、売上高は3,256百万円（前年同期比11.0%減）となりました。セグメント利益はより一層のコストダウンを実施いたしましたが、減販損とエネルギー価格の高騰が大きく影響し636百万円（前年同期比12.5%減）となりました。

#### 鉄粉事業

当セグメントにおきましては、脱酸素剤関連製品は前年同期並の販売となりましたが、カイロ用鉄粉の販売減により、売上高は1,338百万円（前年同期比2.6%減）となりました。セグメント利益は生産効率化によるコストダウンに引き続き努めました結果65百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金、預け金等の増加により、105百万円増加いたしました。固定資産は、キャリア製品製造設備等の設備投資を行いましたので、235百万円増加いたしました。以上により、総資産は340百万円増加し9,932百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、未払金が増加しましたので、200百万円増加し3,563百万円となりました。借入金の前連結会計年度末と同額の490百万円となっております。

純資産は、139百万円増加し6,368百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.8%減少し64.1%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が465百万円となり、減価償却費が306百万円、仕入債務の増加で168百万円のキャッシュ増加、法人税等の支払で150百万円のキャッシュ減少等により、741百万円のキャッシュの増加（前年同期比706百万円キャッシュ増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主にキャリア製品製造設備等の設備投資に401百万円を支出したことにより、400百万円のキャッシュの減少（前年同期比159百万円キャッシュ減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、リース債務の返済による支出72百万円、配当金の支払148百万円等を行い、220百万円のキャッシュの減少（前年同期比192百万円キャッシュ減）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期比482百万円増加し1,041百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は200,156千円であります。なお、研究開発活動の状況について重要な変更はありません。

(6) 経営者の問題意識と今後の方針について

当社グループの経営陣は、現在の事業環境および入手可能な情報に基づき、最善の経営方針を立案するよう努めております。事業環境の変化に対応すべく経営戦略を明確にし、掲げた課題と施策を確実に実行してまいります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,850,000	14,850,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株であり ます。
計	14,850,000	14,850,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日		14,850,000		1,557,000		1,566,000

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	平成24年9月30日現在	
		所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社南悠商社	東京都港区虎ノ門4 - 1 - 35	5,473	36.85
三井金属鉱業株式会社	東京都品川区大崎1 - 11 - 1	5,131	34.55
株式会社常陽銀行	茨城県水戸市南町2 - 5 - 5	660	4.44
パウダーテック従業員持株会	千葉県柏市十余二217番地	499	3.36
三井生命保険株式会社	東京都千代田区大手町2 - 1 - 1	431	2.90
HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA HONG KONG BRANCH-CLIENT ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京 支店)	C/O HSBC INVESTMENT BANK ASIA LIMITED LEVEL 14,1 QUEEN'S ROAD CENTRAL HONG KONG (東京都中央区日本橋3 - 11 - 1)	245	1.64
株式会社千葉興業銀行	千葉県千葉市美浜区幸町2 - 1 - 2	165	1.11
新沢 正治	茨城県高萩市	103	0.69
黒田 兼司	千葉県柏市	77	0.51
松浦 行子	東京都中央区	74	0.49
計		12,859	86.59

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 23,000		単元株式数1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,786,000	14,786	同上
単元未満株式	普通株式 41,000		
発行済株式総数	14,850,000		
総株主の議決権		14,786	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式482株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) パウダーテック株式会社	千葉県柏市十余二217番地	23,000		23,000	0.15
計		23,000		23,000	0.15

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1, 3 351,183	1, 3 408,118
受取手形及び売掛金	1,207,893	1,260,510
商品及び製品	1,089,786	966,198
仕掛品	722,017	741,489
原材料及び貯蔵品	340,580	376,214
繰延税金資産	125,284	124,461
預け金	569,572	633,076
その他	25,458	27,195
貸倒引当金	596	591
流動資産合計	4,431,181	4,536,675
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	3,463,650	3,472,491
減価償却累計額	2,262,681	2,311,073
建物及び構築物（純額）	1,200,968	1,161,417
機械装置及び運搬具	2 5,951,864	2 6,069,997
減価償却累計額	5,031,664	5,143,653
機械装置及び運搬具（純額）	920,199	926,344
土地	1,860,198	1,860,198
リース資産	1,636,842	1,638,521
減価償却累計額	1,146,596	1,218,608
リース資産（純額）	490,245	419,913
建設仮勘定	413,548	703,815
その他	345,911	404,963
減価償却累計額	302,439	311,183
その他（純額）	43,471	93,779
有形固定資産合計	4,928,632	5,165,468
<b>無形固定資産</b>		
その他	1,865	1,865
無形固定資産合計	1,865	1,865
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	15,516	15,430
繰延税金資産	172,235	171,641
その他	60,515	58,817
貸倒引当金	18,643	17,896
投資その他の資産合計	229,623	227,992
固定資産合計	5,160,121	5,395,325
資産合計	9,591,302	9,932,000

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 700,271	3 861,179
1年内返済予定の長期借入金	98,000	98,000
リース債務	139,318	121,610
未払金	568,215	755,056
未払法人税等	157,375	195,996
未払事業所税	16,966	8,500
未払消費税等	54,813	24,739
賞与引当金	181,466	193,181
役員賞与引当金	24,000	-
その他	3 189,537	3 179,584
流動負債合計	2,129,963	2,437,848
固定負債		
長期借入金	392,000	392,000
リース債務	353,842	301,171
長期未払金	-	35,122
退職給付引当金	424,671	391,593
役員退職慰労引当金	56,262	-
環境対策引当金	5,900	5,900
固定負債合計	1,232,676	1,125,786
負債合計	3,362,640	3,563,634
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,557,000	1,557,000
資本剰余金	1,566,000	1,566,000
利益剰余金	3,127,869	3,255,932
自己株式	6,218	6,372
株主資本合計	6,244,651	6,372,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146	399
為替換算調整勘定	15,842	4,593
その他の包括利益累計額合計	15,988	4,194
純資産合計	6,228,662	6,368,365
負債純資産合計	9,591,302	9,932,000

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,034,111	4,594,478
売上原価	3,803,383	3,451,517
売上総利益	1,230,728	1,142,960
販売費及び一般管理費	645,958	646,352
営業利益	584,769	496,607
営業外収益		
受取利息	1,548	2,169
助成金収入	8,559	-
その他	5,143	6,410
営業外収益合計	15,252	8,580
営業外費用		
支払利息	3,261	2,519
為替差損	13,708	8,818
債権売却損	11,511	9,765
その他	1,217	1,311
営業外費用合計	29,700	22,415
経常利益	570,321	482,773
特別利益		
有形固定資産売却益	-	1,287
特別利益合計	-	1,287
特別損失		
有形固定資産除却損	28,048	17,674
投資有価証券評価損	-	931
特別損失合計	28,048	18,606
税金等調整前四半期純利益	542,273	465,454
法人税等	233,730	189,120
少数株主損益調整前四半期純利益	308,543	276,333
四半期純利益	308,543	276,333

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	308,543	276,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	247	546
為替換算調整勘定	7,795	11,248
その他の包括利益合計	8,042	11,794
四半期包括利益	316,585	288,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,585	288,128

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	542,273	465,454
減価償却費	354,996	306,773
貸倒引当金の増減額（は減少）	3,478	752
賞与引当金の増減額（は減少）	16,710	11,715
役員賞与引当金の増減額（は減少）	24,000	24,000
退職給付引当金の増減額（は減少）	6,137	33,078
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	14,881	21,140
受取利息及び受取配当金	1,596	2,217
支払利息	3,261	2,519
為替差損益（は益）	-	782
固定資産売却損益（は益）	-	1,287
有形固定資産除却損	19,729	3,505
投資有価証券評価損益（は益）	-	931
売上債権の増減額（は増加）	301,289	51,821
たな卸資産の増減額（は増加）	260,999	70,629
仕入債務の増減額（は減少）	227,371	168,919
未払消費税等の増減額（は減少）	19,923	30,073
その他	95,342	24,843
小計	488,815	891,702
利息及び配当金の受取額	1,596	2,217
利息の支払額	3,261	2,091
法人税等の支払額	451,497	150,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,652	741,695
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	240,432	401,839
有形固定資産の売却による収入	-	1,585
投資活動によるキャッシュ・フロー	240,432	400,254
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	200,000	-
リース債務の返済による支出	80,079	72,057
自己株式の取得による支出	121	154
配当金の支払額	148,277	148,271
財務活動によるキャッシュ・フロー	28,477	220,483
現金及び現金同等物に係る換算差額	270	518
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	233,528	120,439
現金及び現金同等物の期首残高	791,862	920,756
現金及び現金同等物の四半期末残高	558,334	1,041,195

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,758千円増加しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1 税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 債権流動化に伴う買戻義務

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
債権流動化に伴う買戻義務	83,498千円	73,234千円

2 過年度における国庫補助金等に係る資産の取得価額の直接圧縮累計額は61,598千円であります。

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。  
 なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	894千円	601千円
支払手形	11,915	6,899
設備関係支払手形	12,169	23,772

(四半期連結連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
販売費	千円	千円
賞与引当金繰入額	17,282	13,989
退職給付費用	3,524	2,690
一般管理費		
賞与引当金繰入額	37,946	35,660
退職給付費用	4,401	8,301
役員退職慰労引当金繰入額	7,879	2,925
研究開発費	113,916	104,477

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金	301,661千円	408,118千円
預け金	256,673	633,076
現金及び現金同等物	558,334千円	1,041,195千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	148,277	10.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	148,271	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	キャリア 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	3,659,777	1,374,334	5,034,111		5,034,111
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	3,659,777	1,374,334	5,034,111		5,034,111
セグメント利益	727,996	59,599	787,595	202,826	584,769

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 202,826千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 201,663千円及び  
 棚卸資産の調整額 1,163千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費  
 であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損益又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	キャリア 事業	鉄粉事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	3,256,225	1,338,252	4,594,478		4,594,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	3,256,225	1,338,252	4,594,478		4,594,478
セグメント利益	636,677	65,922	702,599	205,991	496,607

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額 205,991千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 204,771千円及び  
 棚卸資産の調整額 1,220千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費  
 であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

### (1) 測定方法の変更

平成24年4月1日から、従来全社費用としていました「品質保証等に係る費用」については、各セグメントの経営成績の実態をよりの確に把握することを目的に業績管理手法を見直した結果、キャリア事業に直課する方法に変更いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間のキャリア事業のセグメント利益が42,926千円減少し、同額調整額が減少しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

### (2) 会計方針の変更等

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「キャリア事業」のセグメント利益が3,698千円増加し、「鉄粉事業」のセグメント利益が60千円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	20.81	18.64
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	308,543	276,333
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	308,543	276,333
普通株式の期中平均株式数(株)	14,827,373	14,826,735

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

パウダーテック株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小長谷 公一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 戸谷 且典 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているパウダーテック株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、パウダーテック株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。